

ブロードキャスト・サテライト・ディズニー株式会社
(以下「ディズニー」という)

第七回ディズニージュニア放送番組審議会

議事録

- 開催日時 : 2015年04月22日(水) 14:00~14:30
開催場所 : 東京都港区麻布台 2-4-5
ウォルト・ディズニー・ジャパン株式会社
テレビジョン部門オフィス
スタジオ・ディズニー会議室
- 在任審議委員数 : 7
出席審議委員数 : 6
出席審議委員氏名 : 阿部 京子
木下 美子
戸田 奈津子
名越 康文
前田 耕作
山田 顕喜
- その他、ディズニ : 編成部門担当者6名
ーからの出席者

- 議案**
- 1) ディズニージュニアの番組編成・改編について
 - 2) ディズニージュニア放送番組について
(下記の番組については、本会議に先立ち、各審議委員にDVDを送付した。)
・「ヘンリー・ハグルモンスター」

審議の概要

1) ディズニージュニアの番組編成について

ディズニー・ジュニアの概要について説明がされ、下記のとおり意見交換が行われた。

(以下●印 審議委員からの意見及び質問、○印 ディズニーからの出席者の回答)

- 今月は11日(土)にソフィアの特別編成を組み、『ソフィアとアンバー ふたりのちいさなプリンセス』というラプンツェルが登場するスペシャルエピソードを放送。また、映画では『バンビ』がディズニージュニアに初登

場し、そしてTVシリーズとしては『ヘンリー・ハグルモンスター』の特別編成が29日に組まれている。

- 5月には映画『ティンカー・ベルと月の石』を放送する予定で、TVシリーズに関しては、9日(土)に『せいぶのねこ キャリー』の特別編成を、そして30日(土)には『おたすけマニー』の特別編成として「マニーといこう! どようびのだいぼうけん」を組んでいる。

2) ディズニー・ジュニア放送番組について

ディズニー・ジュニア放送番組について各委員より意見交換が行われた。

(以下●印 審議委員からの意見及び質問、○印 ディズニーからの出席者の回答)

『ピッケはちいさなバイキング』について:

- 原作は、ニアム・シャーキーの絵本。映像はイギリスとアイルランドの共同制作で、2013年制作。
- 登場するキャラクターたちは、それぞれ個体差も大きく性格的にも個性が強いが、お互いの特徴を認め合って共存している。また、ヘンリーの家族は特に家族愛が強く、お互いによくハグするのが特徴。
- ヘンリーは好奇心が強く色々なことにチャレンジして楽しむが、自分が好きなことをやるにしても責任を持つことが大切、と教えられる。
- 色の使い方が特殊で印象的だ。イギリスとアイルランドの制作と聞いて、納得した。建造物等にそれらの国々の特徴が見られる。
- シーソーに乗るシーンは、2~3歳のこどもに、物理的な重さというものの感覚を分かりやすく見せてくれている。例えば、自分がどのくらいの勢いで座ると、相手方がどのくらい飛ぶのか、と予測をさせる部分。日本のアニメ作品ではこういう点がわかりにくい、これはとても重要。
- 物の動きが面白い。テコの原理や自然科学的なものが出ているところが良い。子供向けに理科教室のようなものがあるが、そういったもののように、影、水、太陽等、物理的な動きで幼児に思考を教えていくところが良いと思う。
- 今回の作品の中で一番気に入っている。子供たちに、考えさせるという部分が良い。単純に見せて楽しませるというだけではなく、この「考えさせる」という部分は重要。
- 日本の子供たちにはハグルモンスターも「ハグ」と意味が分からないので、本来は怖いはずの「モンスター」という存在がハグルする、という面白い意味合いが死んでしまっている。ハグル、という意味が分かるように演出すると良いのではないかと。

- 1歳半の孫と一緒に見たが、普段は落ち着きがない子なのだが、この作品は最後まで見続けられた。各キャラクターの色合いが鮮やかで暖かく、要所要所で歌が入れられているからだと思う。

以上をもって本会議は、議案の審議を終了したので14：30に閉会した。

上記の議事の経過の要領及びその結果を明確にするため、本議事録を作成する。